

算数科 小学校 5年

単元名 合同な図形
～三角形・四角形の角～
啓林館 わくわく算数5上

単元の流れ（全7時間）

【第1時】

主な学習内容

形も大きさも同じ三角形の敷き詰めを通して、三角形の3つの角の大きさについてきまりを見つける。

「活用」の力育成のために

(ポイント①④) 敷き詰めた図形にきまりがないか考えさせる。

【第2時】

主な学習内容

三角形の内角の和のきまりを使って、未知の角の大きさを求める。

【第3時】(本時)

主な学習内容

三角形の内角の和のきまりを使って、四角形などの内角の和を求める。

「活用」の力育成のために

(ポイント②③) 日常生活で知っている三角形の内角の和が180度になる理由を考えさせる。

【第4時】

主な学習内容

三角形の内角の和が180度であることを用いて、多角形の内角の和を考える。

【第5時】

主な学習内容

同じ平行四辺形や台形など敷き詰める活動を通して、図形のもつ美しさ、不思議さを感じ取る。

【第6時】

主な学習内容

一般四角形の敷き詰めを通して、図形のもつ美しさ、不思議さを感じ取る。

【第7時】

学習内容の自己評価

単元目標

三角形や四角形の内角の和について理解する。

単元構成の意図

本単元では、角の大きさに着目し、平面図形についての理解を深める指導をする。三角形の内角の和や、四角形の内角の和を求める学習を行い、さらに多角形の角度を合理的に求めていく。そのため、いろいろな三角形を調べることを通して、どの三角形も共通して内角の和の180度が当てはまることを理解させ、四角形の内角の和が360度であることへと思考を展開していく。さらに、三角形・四角形の角では、敷き詰めの作業を通して、図形の持つ美しさへとつなげていく。さらに敷き詰めを通して得られた形から、今後学習する「面積」の公式を導くことができる。

「活用」の力を育てるポイント

- ① 多角形の内角の和を求める活動を通して、図形の角度にはきまりがあることを見つけ出す力を身に付けさせる。
- ② 自分の考えや解決方法などの根拠を示して説明する力を身に付けさせる。
- ③ 発問内容を工夫することで、既習内容や日常生活で知っている知識を活用する力を付けさせる。
- ④ 図形の敷き詰めを通して、図形の美しさを感じ取ったり規則性に気付いたりする力を付けさせる。

「活用」の力育成のために

(ポイント①③) 敷き詰めから、三角形のようにきまりがないか考え、日常生活でみる図形にもきまりがないか考えさせる。

[本時の流れへ](#)

[授業展開例へ](#)

[評価問題](#)

[HOME](#)